

成果を出すために ～振り返りの意義～

校長 竹中 朝崇

最低気温も1ケタ台に入り初冬の様相になる中、銀杏並木の黄葉はピークを迎え、きれいに色づいています。時折、歩行者の方が立ち止まり、写真に収める光景を見かけます。例年より少し遅いかなと感じていますが、いつのまにか富士山は雪化粧となり、短い秋が終わって季節は冬へと向かっています。これからの季節は乾燥します。風邪等の予防を徹底しながら学校生活を送って欲しいものです。毎回言っていると思いますが、健康管理をしっかりしましょう。

ところで、師走を迎えました。私のように歳を重ねた人からすると1年はあっという間に過ぎてしまうと感じている人も多いはずですが、学校の1年は4月に始まり3月に終わりますので、生徒の皆さんにするとまだ1年の終わりという実感がないかもしれませんが、12月というのは1つの学期の区切りでもありますので、いろいろな意味で振り返りが必要な時期であります。新たな学年がスタートした4月に1年間の目標を各自立てたと思います。2学期の終わりを迎えますが、2/3が経過する段階で目標に対しどこまで近づくことができただしょうか。生徒の皆さんには4月に掲げたゴール地点に対する中間評価をしていただきたいと思います。まずは自己評価をして、できていること・できていないことを確認します。第三者の方に評価をしていただき、できていること・できていないことを確認します。自ら気づいていない良さや改善点を指摘していただくことは、一步でも前に踏み出しゴールに向かって取り組む意味で大切なこととなります。ゴール地点では目標を達成できているよう、振り返りにあたって「見える化」することは自ら進むべき方向性を明確にすることとなります。文字化したり、数値化したりして工夫しましょう。その際の注意点は、他人と比較することをしてはいけません。成果を出すために、目標を達成するために大切なことは、自らとしっかり向き合うことです。

2学期終業式(12/21)を終えると冬休みに入ります。冬休みの期間はイベント等が多くあり、いろいろな誘惑があります。羽目を外し過ぎるとたいへんなこととなります。特にSNSの扱いには十分気をつけ、他人と簡単につながるができるだけにその危険性を認識するとともに、親しい人に対しても礼を尽くすことを忘れてはいけません。SNSに限らず定められたルールやマナーを守る中で楽しむことを覚えてください。これは生徒の皆さんに限らず、大人の皆さんに言えることです。最後は自己責任となります。自分の身は自分で守る。「君子危うきに近寄らず」という言葉を忘れずに行動しましょう。

最後になりますが、これから進路決定に向けて大きな山場を迎える皆さん。最後まで粘り強く、あきらめずに今までの取組が報われるよう期待しています。入試本番で最大限の力を発揮するためには健康管理が大切です。準備で全てが決まる。信じた道をしっかり進んでください。